

【図書館指定管理者候補の主な提案及び現行との比較】

指定管理者候補		株式会社 図書館流通センター	図書館専門企業。顧客のほぼすべて図書館。略称TRC
項目	審査事項	提 案	現 行
	本市及び全国の管理運営実績	本市の図書館窓口業務を平成23年から28年度まで受託。全国の公共図書館受託実績486館。内、指定管理311館。 ※全国の公共図書館数3,261館	市担当部署での委託実施状況評価は、A～Eの5段階評価のB。業務は良好且つ適正に行われている。 道内での指定管理受託実績は3市(釧路・苫小牧・函館)
必須	開館時間・開館日の拡大(休館日)	<p>本館 ■月曜日。ただし、祝日(ハッピーマンデー)は開館 ■年末年始(12/29～1/3) ■毎月最終金曜日</p> <p>※蔵書点検による休館は無し。スキャン作業の外注により、休館を要する点検作業を1昼夜で実施。</p> <p>分館 ■現行どおり</p>	<p>本館 ■月曜日 ■年末年始(12/29～1/3) ■蔵書点検(6月の連続7日間)</p> <p>※H27より全館一斉の蔵書点検を見直し、必ず1館は開館する日程に変更。</p> <p>分館 ■月曜日 ■年末年始(12/29～1/3) ■蔵書点検/特別図書整理期間(6月の連続7日間)</p>
	開館時間・開館日の拡大(開館時間)	<p>本館 ■火～金曜日 9:30～19:30 ■土日・祝日 9:30～18:00</p> <p>分館 ■現行どおり</p>	<p>本館 ■火・金曜日 10:00～18:00 ■水・木曜日 10:00～20:00 ■土日・祝日 10:00～17:00 ■毎月最終金曜日 13:00～18:00</p> <p>分館 ■火～日曜日・祝日 10:00～17:00 ■毎月最終金曜日 13:00～18:00</p>
	高齢者、障がいのある方及び外国人へのサービスの推進	<p>宅配サービス無料化の検討。 運用方法変更による無償化を受託期間内に実現→宅配活動をボランティア活動の一環に位置付けて構築</p> <p>多言語サービス充実のため、図書館HPの多言語化(翻訳ソフト導入)推進、多言語資料の充実のほか、英語版利用案内の作成・配布。</p> <p>高齢者サービスを目的に蔵書拠点としての町内会文庫を活用。未登録の寄贈図書・除籍資料を活用し、町内会文庫の協力範囲拡大を図りたい。</p>	<p>宅配サービスは送料(片道300円)を利用者が負担。 来館困難な高齢者・障がい者に電話受付を通じて借りる本や読書相談等に対応。高齢者健康増進券の使用可。</p> <p>英語を中心に多言語資料を収集。図書館HPへの翻訳ソフトと英語版利用案内作成は未実施。</p> <p>左記事業は「恵庭市読書活動推進計画」に基づき進めているが、図書館蔵書を活用した町内会文庫の実績は無い。</p>

項目	審査事項	提 案	現 行
	雇用環境の整備	本社人事制度単価で人件費を積算。賃金単価のアップと一部スタッフの月給化を進め、安定雇用に向けて福利厚生制度など各種制度の適用、また評価制度の見直しなどを目指す。	現行の窓口業務委託仕様書で、労働関係法令その他の法令及び条例の規定を遵守することを定めている。
	環境への配慮	ダンボールをリサイクルした簡易書架を活用し、「森の図書館」「野外読み聞かせ」を実施。	左記事業は未実施。
	自主事業	オリジナルデザインのトートバッグを作成し販売。収益はサビエ活用による障がい者サービス機器購入費に充当。	オリジナルグッズ作成・販売の実績無し。
	資料費管理・資料収集	<p>■選書 スタッフにより組織する図書選定委員会を毎週開催し図書を選定。選書一覧を作成し教育委員会に提出。</p> <p>■購入方法図書 恵庭市書店組合を通じて購入。新聞・雑誌は、市内書店・販売店から購入。雑誌センター制度を継承。</p>	<p>■選書 市職員が隨時選書し、課長決裁により発注。</p> <p>■購入方法 左記と同じ。H27から雑誌センター制度を導入。</p>
必須	地域課題に対応したサービス	図書館HPでの新サービスとして行政コンシェルジュサービスを企画。行政情報の収集・公開を目指す。	左記事業は未実施。 行政情報と図書を展示する行政支援展示コーナー設置。
	インターネット活用による情報発信	Facebookの活用等により情報発信を充実。インターネットを活用した既存のサービスの利用促進につなげる。	Facebookの活用は未実施。
	利用者に対応したサービス	保護者層の図書館利用誘導を目的に、「妊娠向けおはなし会」「おひるねアート」「父親向け絵本教室」を実施。	左記事業は未実施。なお、ボランティアが主催する乳幼児の遊びワークショップを年2回開催。
	ボランティア及び市民活動等の促進	<p>市民に各団体の活動内容等を紹介するパネルを作成し館内に掲示。</p> <p>ボランティアと図書館が目的意識や方向性を共有する場として、ボランティア交流会を茶話会形式で開催。</p> <p>「えにわフラワーサポーター」を立ち上げ、スタッフと共に館内外の緑化活動を支援。</p>	<p>年1回、図書館まつり実行委員会参加団体が活動内容等を紹介するパネルを作成し館内に掲示。</p> <p>必要に応じて、団体間の交流、図書館職員からの図書館運営状況等を伝えるボランティア交流会を開催。</p> <p>一部の花壇整備に市民ボランティアが協力。</p>
	地域・他機関との連携策	<p>郷土資料館と図書館の連携を図り、スタッフ対象にカリンバ遺跡に関する研修、遺跡に関する資料展示を実施。</p> <p>小中学校・高校とは教育委員会と役割分担を協議・理解のうえ、最大限連携と協力を図っていく。</p>	<p>郷土資料館と連携し、館内にカリンバ遺跡レプリカ等を展示。</p> <p>小中学校図書館を所管。また総合的学習・団体貸出・職業体験等の受入など多岐にわたる学校支援とともに、高校ブックライン等により高校との連携を図っている。</p>